

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
数学Ⅱ	4	2	必修	

1. 科目の概要・学習目標

①いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

②数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 成績・評価・観点の割合（観点別評価の重みもここで記載）

(1)知識・技能：思考・判断・表現：主体性＝5：3：2

(2)評価は「定期考査・確認テスト・提出物・振り返りシート・授業態度」を数値化して行う。

各学期観点別にA・B・Cで評価し、学年末には5段階評価を付ける。

3. 使用教科書・副教材

(1)高等学校 数学Ⅱ（数研出版）

(2)4プロセス（理型クラス）、書き込み式シリーズ 標準 Study-Up ノート（文型クラス）

4. 授業展開・形態・方法（授業の進め方、受講に当たって臨む態度、少人数・習熟度など）

3クラス4展開の習熟度授業を行う。標準クラスは基礎基本の定着を図る。応用クラスは発展的な内容の演習も行う。間違いや正解の両方の思考を楽しむ気持ちで受講に臨んで欲しい。

5. 学習方法・学習のポイント（自学の進め方、予習・復習の方法など）

スタディーサプリや副読本を活用し、きちんと家庭学習を行うこと。計算力が求められる単元が多いので、関数の特性や計算過程の工夫を心がけること。